

北アルプス裏銀座縦走+高天原山行報告

- (山 域) 北アルプス南部(裏銀座縦走+高天原)
(コ ー ス) 高瀬ダム⇒烏帽子小屋⇒野口五郎小屋⇒水晶小屋⇒高天原山荘⇒三俣山荘⇒
双六小屋⇒(西鎌尾根)⇒槍ヶ岳山荘⇒槍沢ロッジ⇒上高地
(登山方法) 小屋泊り縦走
(山 行 日) 平成 29 年 8 月 21 日(月)~8 月 25 日(金)
(天 候) 8 月 21 日 曇り 22 日 曇りのち雨 23 日 雨 24 日 雨 25 日 雨
(参 加 者) 篠塚 勇 (単独)
(山行タイム)

8 月 21 日 高瀬ダム 6:10⇒烏帽子小屋 10:40 11:00⇒三ツ岳 12:10⇒野口五郎小屋 14:20
22 日 野口五郎小屋 5:50⇒野口五郎岳 6:10⇒東沢乗越 7:50⇒水晶小屋 8:30 8:50⇒
岩苔乗越 9:30⇒高天原山荘 12:00⇔高天ヶ原温泉
23 日 高天原山荘 5:50⇒岩苔乗越 8:40⇒(黒部源流ルート)⇒三俣山荘 10:20 10:40⇒(巻道ルート)
⇒双六小屋 13:40
24 日 双六小屋 5:50⇒樺沢岳 6:20⇒左沢乗越 7:40⇒千丈乗越 9:10⇒槍ヶ岳山荘 10:30
10:40⇒天狗原分岐 12:30⇒槍沢ロッジ 14:10
25 日 槍沢ロッジ 5:50⇒徳沢 8:30⇒上高地バスターミナル 10:40

(山行報告)

20 年程前に表銀座コースを縦走し、いつかは裏銀座コースもと思っていたが、いつの間にか年月が過ぎてしまい、体力も大分落ちてきたので今回チャレンジすることにした。

縦走コースとして、百名山は以前踏破し、時間も要するので今回は山頂登頂(烏帽子岳・水晶岳・鷲羽岳・槍ヶ岳)には拘らないこととする。

8 月に入ってからずっと天気が悪く、上記期間は山天予報がまずまずだったので山行を決行することにした。

◎1 日目(8 月 20.21 日)

自宅を 20 日の 20 時に出発、東西線竹橋駅毎日新聞社前 夜行高速バス「毎日あるぺん号」で 22 時 30 分発、七倉山荘前 21 日 3 時 45 分着。10 人程下車、全員タクシー待ちだ。5 時 30 分(ゲートが開く)にタクシーで高瀬ダム堰堤上まで 25 分(4 人相乗りで 1 人 550 円)。高瀬ダム 6 時 10 分裏銀座縦走路のスタートだ。トンネル、吊橋、河原の先が北アルプス三大急登のブナ立尾根登山口だ。標高 100m 毎に No.12⇒No.0 の標識があり休憩場所の目安にいい。私は偶数番毎(40~50 分間隔)に水分補給休憩をとる。途中ハッと気付く、入山連絡をしていない。10 時 40 分に烏帽子小屋着。小屋前一面に咲き誇るブルーのイワギキョウが眼に飛び込んでくる。小屋の衛星電話を借り(緊急以外はダメだと言われたが、事情を話し使わせてもらおう)入山連絡をする。食事休憩と水 1L(200 円)を購入し 11 時出発。三ツ岳を過ぎた辺りで反対側から見たことのある人か歩いてくる、広木愛子さんだ。10 分程立ち話をする。野口五郎岳は遙か先だ。所どころのお花畑を楽しみながら野口五郎小屋に 14 時 20 分到着。泊りは 14~15 人程だ。この標高(約 2,870m)だと夕暮れの外はダウンコートを着込んでも寒い。

◎2 日目(8 月 22 日)

野口五郎小屋を5時50分出発。ガスで500m程先の野口五郎岳さえ見えない。(展望が効かないのはこの後最終日まで続く)20分程で野口五郎岳山頂。真砂岳の巻道、竹村新道分岐、アップダウンの少ない稜線(お花畑あり)と続くが、その先が思いの外 難コースで東側が切れ落ちた岩塊がゴロゴロした稜線で小ピークを5~6箇所超えて東沢乗越に出る。(近くに石仏あり)その先も同じ様な小ピークが2~3箇所、急坂を登り切った先が水晶小屋で8時30分着だ。改築された小屋の中でホットコーヒー(400円)を頂く。中では若いスタッフ4~5人がミーティングをしている。これから先はずっと下りだ。途中フリモ北分岐で裏銀座コースから離れ、岩苔乗越から高天原方面へ。乗越から3~4分下った所に水量豊富な今回初めての水場で喉を潤す。静寂な水晶池で小休止し、高天原山荘へ12時に到着。岩苔乗越から約700mの下りで明日の登り返しが思いやられる。朴とつな山荘主が寝場所にご自由にとのこと。ここまで足を延ばす人は少なく泊客は10人程だ。着替えと雨が降りそうなのでコウモリを持ち温泉へ下りで20分程。温泉は脱衣所脇のやや温めの「からまつの湯」(混浴?)と沢向こうに熱めの浴槽の2箇所だ(男性)。行き来するのに下が砂礫なので裸足では痛い。入浴者の一人は明日温泉沢コース(温泉から水晶岳付近へ沢伝いの急登)を登るといふ。小1時間すると雨が降ってきたので山荘に引上げる。雨は14時頃から本降りになる。(雨は最終日の上高地まで降り続く)ランプの宿なので皆床につくのが早い。19時には静かになる。

◎3日目(8月23日)

レインウェアを着込み高天原山荘を5時50分に出発。岩苔乗越まで約3時間モクモクと登る。黒部源流ルートを下り、下り切った所が雲ノ平方面からとの合流地点だ。ここから双六小屋までは昨年通った登山道だ。そこから三俣山荘へは小1時間の登りで10時20分着。ここで裏銀座縦走路に復帰だ。小屋の中で段ボールの敷いた上り框にリックを降ろし腹ごしらえをする。三俣峠までは石のごろごろした緩やかな登り坂が続く。その先予定では3ルートの内、稜線ルートに行く予定であったがガス・雨に加え風も強いので諦め、巻道ルートを探る。途中この山行で唯一雲の切れ間から1~2分間だけ槍ヶ岳の穂先が見える。お花畑もそろそろ店じまいだ。3ルート合流地からは急坂を下り双六小屋に13時40分到着だ。別館6人部屋に3人だ。ちば山の山行状況に載っていた双六診療所の牛坂さんを訪ね、談話室で暫し四方山話。この小屋はオーナーの指導よろしく、温かい食事、行き届いた清掃、挨拶等がよく成されている。

◎4日目(8月24日)

眼が覚めたら同室の2人がいない。朝食は4時30分からだ。寝坊した。大急ぎで洗面等を済ませ、食事、身支度を整え、双六小屋を5時50分に出発。今日も雨・風が強い。新穂高温泉に下山する選択肢もあったが、ここまで来たら初志貫徹の裏銀座縦走の完走だ。樅沢岳の登りに向かい、30分程で山頂。天気が良ければここから正面に槍ヶ岳が見ながらの稜線歩きになるはずだった。アップダウンのそれほどきつくない稜線が硫黄乗越(硫黄の匂いがする)、左沢乗越と続く。南からの強風で稜線の右側(南)は強風、左側は凧になる。気温も可なり低い、5度前後か。前夜夕食時に西鎌経験者から強風の時は、相当冷えるので1枚多く着込んだ方がいいよとのアドバイスがあり、その通りにし正解だ。(レインコートも含め4枚)ここから先が西鎌尾根の核心部だ。足場の悪い痩せ尾根・鎖の架かる岩峰の小ピークが4~5箇所、体を持って行かれそうな強風(15m以上か)、慎重に行くこと1時間30分で千丈乗越だ。呼吸を整えいよいよ槍の肩までの急登だ。喘ぎ喘ぎ1時間20分槍ヶ岳山荘が見えてきた。出

会った人は3人のみ。小屋でホットコーヒー(500円)を飲み、直ぐに下山を開始する。暫らくは槍の肩からの吹き下ろしの風(20m前後か)が強い。慎重に下る。登りの人は正面から風をまともに受け疲労倍増だ。水沢の湧水で喉を潤し、天狗原分岐で小休止、急坂を1,000m程度下った大曲付近で風も弱くなる。緩やかな下り坂を淡々と歩き、槍沢ロッジに14時10分到着。こんな悪天候でも100人以上は登って行った。槍沢ロッジもそこそこの賑わいだ。ここのロッジには風呂があり、15時から入浴ができる。4~5人入れる浴槽が2槽(男性用)ある。山天の情報では明日はもっと悪くなり大雨と強風(槍ヶ岳で25m)の予報。どこの小屋(高天原・双六・槍沢)でも話をした人は、事前の山天予報では22・23・24日は登山指数Aだったので来てみたが最悪天気だとの恨み節だ。私は知らなかったが日テレ24時間テレビで義足の少女とイモトアヤコが槍ヶ岳登山に挑戦するそう。予報では当日(27日)は最高の天気ではないか。小屋の掲示やスタッフからは何の話はなかったが、放送時間を考えたら、このロッジに前泊するのではないかと予想する人もいる。(放送では前泊していた)

◎5日目(8月25日)

槍沢ロッジを5時50分出発だ。(意識した訳ではないが何故か4日とも同じ出発時間となる)今日も相変わらずの雨だ。横尾までは緩やかな登山道を下り、そこから先は車道だ。徳沢付近からはドシャ降りの雨になる。車道は川のように、低い所は水溜りだ。今日も槍ヶ岳か穂高岳のどちらかに300人以上が登って行った。河童橋付近はこんな天気でも観光客で溢れている。上高地バスターミナルに10時40分到着。小梨の湯かホテルで入浴(入浴時間は12時から)、のんびり散策し15時発の高速バスで帰る予定だったが、こんな天気なので早々に帰ることにする。汗を拭き着替えて、11時30分発の路線バスで新島々へ、松電で松本、JRあずさ号で新宿と乗り継ぎ、18時30分に帰葉する。

天候は悪かったが、念願だった北アルプス裏銀座縦走と高天原を完走できたことで満足とします。

以上



烏帽子小屋前のイワギキョ



野口五郎小屋全景



秘湯高天ヶ原温泉



西鎌尾根の左俣乗越